

牛久：学校周辺に見る自然

第20号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月8日発行

＜ 初夏のみずべ公園 ～⑪ギシギシに来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きもの観察、今回はギシギシと、そこに来た虫たちの紹介です。



ギシギシ類の葉を食べるコガタリハムシ（左）。茎から汁を吸うギシギシアブラムシと、甘い汁をもらうアリ（右）。



4月には幼虫が大部分だったコガタリハムシも（第7号を参考に）、この日は逆にほとんどが成虫でした。葉はやはり、食べられてぼろぼろの状態。みずべ公園では、ギシギシの他にエゾノギシギシ、アレチギシギシ、スイバ、ヒメスイバが見られますが、それらは花や実の形、葉の形と茎へのつき方などで見分けることができます。上の写真は何ギシギシでしょうか？きちんと確かめませんでした。参考、左はスイバの若い実です。びっしりと、ついてますね。スイバは雄の花がつくものと雌の花がつくものが別々で、花粉は風で運ばれるそうです。それにしても、近くでよく見るときれいな実ですね。

【理科支援員：宮内】

スイバの若い実。ギシギシのなかまは、花や実の形、葉の形と茎へのつき方で見分けられる。